

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2013-248431(P2013-248431A)

【公開日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-067

【出願番号】特願2013-154853(P2013-154853)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

A 6 3 F 7/02 3 5 3

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月29日(2013.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技者が所持する記憶媒体と、遊技機と、当該遊技機に対応して配置した記憶媒体処理装置と、前記遊技機に対応して配置し、当該遊技機から払い出された遊技媒体の計数が可能な計数機と、記憶媒体処理装置と接続されている管理装置とから成り、

前記記憶媒体は、

当該記憶媒体に割り振られた固有の識別情報を記憶する識別情報記憶部を有し、

前記記憶媒体処理装置は、

前記記憶媒体に記憶されている情報の読み取りを行う読み取り部と、

識別情報を記憶する記憶媒体識別情報記憶部と、

読み取りを行った前記記憶媒体の持玉数を記憶する使用禁止持玉情報記憶部と、

前記計数機で計数された持玉数を記憶する使用可能持玉情報記憶部と、

前記記憶媒体の識別情報とは異なる識別情報を生成する生成部と、

前記記憶媒体の識別情報と前記記憶媒体識別情報記憶部に記憶されている識別情報を照合する照合部と、

前記生成部が生成した識別情報を前記記憶媒体識別情報記憶部に記憶させ、

前記記憶媒体の識別情報と記憶媒体処理装置内に記憶されている持玉情報を送信する制御を行い、

前記照合部が照合した識別情報が不一致の場合は、前記記憶媒体の識別情報を送信し、受信した持玉情報を特定される持玉数を前記使用禁止持玉情報記憶部に記憶させる制御を行う記憶制御部と、

持玉の払出操作を検知すると、持玉払出信号を送信する持玉払出操作検知部と、

前記持玉払出信号を受信すると、前記使用可能持玉情報記憶部に記憶されている持玉数の遊技媒体を払出す出し制御部とを有し、

前記管理装置は、

前記記憶媒体の識別情報と共に持玉情報を記憶する記憶部と、

前記記憶媒体の識別情報と持玉情報を受信すると、前記記憶部に記憶させ、

前記記憶媒体の識別情報を受信すると、当該識別情報に関連付けて記憶されている持玉

情報を送信する制御部とを有することを特徴とする、記憶媒体処理システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記目的を達成するため、請求項1の発明では、

遊技者が所持する記憶媒体と、遊技機と、当該遊技機に対応して配置した記憶媒体処理装置と、前記遊技機に対応して配置し、当該遊技機から払い出された遊技媒体の計数が可能な計数機と、記憶媒体処理装置と接続されている管理装置とから成り、

前記記憶媒体は、

当該記憶媒体に割り振られた固有の識別情報を記憶する識別情報記憶部を有し、

前記記憶媒体処理装置は、

前記記憶媒体に記憶されている情報の読み取りを行う読み取り部と、

識別情報を記憶する記憶媒体識別情報記憶部と、

読み取りを行った前記記憶媒体の持玉数を記憶する使用禁止持玉情報記憶部と、

前記計数機で計数された持玉数を記憶する使用可能持玉情報記憶部と、

前記記憶媒体の識別情報とは異なる識別情報を生成する生成部と、

前記記憶媒体の識別情報と前記記憶媒体識別情報記憶部に記憶されている識別情報とを照合する照合部と、

前記生成部が生成した識別情報を前記記憶媒体識別情報記憶部に記憶させ、

前記記憶媒体の識別情報と記憶媒体処理装置内に記憶されている持玉情報を送信する制御を行い、

前記照合部が照合した識別情報が不一致の場合は、前記記憶媒体の識別情報を送信し、受信した持玉情報から特定される持玉数を前記使用禁止持玉情報記憶部に記憶させる制御を行う記憶制御部と、

持玉の払出操作を検知すると、持玉払出信号を送信する持玉払出操作検知部と、

前記持玉払出信号を受信すると、前記使用可能持玉情報記憶部に記憶されている持玉数の遊技媒体を払出す出し制御部とを有し、

前記管理装置は、

前記記憶媒体の識別情報と共に持玉情報を記憶する記憶部と、

前記記憶媒体の識別情報と持玉情報を受信すると、前記記憶部に記憶させ、

前記記憶媒体の識別情報を受信すると、当該識別情報に関連付けて記憶されている持玉情報を送信する制御部とを有する、記憶媒体処理システムとした。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、遊技者が所持する記憶媒体と、遊技機と、当該遊技機に対応して配置した記憶媒体処理装置と、前記遊技機に対応して配置し、当該遊技機から払い出された遊技媒体の計数が可能な計数機と、記憶媒体処理装置と接続されている管理装置とから成り、前記記憶媒体は、当該記憶媒体に割り振られた固有の識別情報を記憶する識別情報記憶部を有し、前記記憶媒体処理装置は、前記記憶媒体に記憶されている情報の読み取りを行う読み取り部と、識別情報を記憶する記憶媒体識別情報記憶部と、読み取りを行った前記記憶媒体の持玉数を記憶する使用禁止持玉情報記憶部と、前記計数機で計数された持玉数を記憶する使用可能持玉情報記憶部と、前記記憶媒体の識別情報とは異なる識別情報を生成する生成部と、前記記憶媒体の識別情報を前記記憶媒体識別情報記憶部に記憶されている識別情報をと

照合する照合部と、前記作成部が作成した識別情報を前記記憶媒体識別情報記憶部に記憶させ、前記記憶媒体の識別情報と記憶媒体処理装置内に記憶されている持玉情報を送信する制御を行い、前記照合部が照合した識別情報が不一致の場合は、前記記憶媒体の識別情報を送信し、受信した持玉情報から特定される持玉数を前記使用禁止持玉情報記憶部に記憶させる制御を行う記憶制御部と、持玉の払出操作を検知すると、持玉払出信号を送信する持玉払出操作検知部と、前記持玉払出信号を受信すると、前記使用可能持玉情報記憶部に記憶されている持玉数の遊技媒体を払出す払い制御部とを有し、前記管理装置は、前記記憶媒体の識別情報を記憶する記憶部と、前記記憶媒体の識別情報を受信すると、当該識別情報に関連付けて記憶されている持玉情報を送信する制御部とを有する構成とすることにより、特定の遊技機への持玉の持ち込みを確実に禁止することができる。